

株式会社 光洋テクニカ

常に変化に対応して 工業用シール製品を生み出す

オンリー
ワン技術
メイドイン
ジャパン



生産現場の様子

主な事業内容

工業用シール製品の製造

主な取引先(納入先)

建設機械メーカー、食品飲料メーカー、
バルブ・ポンプメーカー

主な製品

パッキン、ガスケット

業務 内容

**高い機能性が評価され、
幅広い分野で採用**

光洋テクニカは、合成ゴムやフッ素樹脂製の工業用シール製品を製造している。シール製品とはガスケットやパッキンなど、機械装置や配管において流体の外部への漏れを防ぐ部品。耐薬品性や耐熱性といった機能性の高さが評価され、建設機械、バルブ・ポンプ、食品、医療、半導体など、幅広い分野で使用されている。

もともとは工業用ゴムパッキンの製造からスタートした、光洋化学（大阪府八尾市）の製造部門。同社は昭和36年に、当時国内ではあまり知られていなかったフッ素樹脂に着目し工業用部品の製造・加工に乗り出した。平成17年に研究開発体制の強化を目的に分社化され、光洋テクニカが設立された。

強み

**独自開発技術で樹脂と
ゴムの複合製品製造も**

フッ素樹脂製品を原材料から一貫生産している利点を生かし、顧客の個別ニーズに合わせてカスタマイズ製品を供給できるのが強みだ。また独自開発した接着加工技術により、フッ素樹脂や合成ゴムなどの複数の素材を組み合わ

社長あいさつ



代表取締役
三宅 一宏さん

光洋化学と光洋テクニカは「時流変化に対応する」を経営方針としています。ポストコロナ時代に向け、世の中はまた大きく動こうとしています。どんなに環境や情勢が変わろうとも顧客から必要とされる存在であり続けるために、私たちは変化し続けなければならないと考えています。

主な保有設備

- 真空プレス機(ゴム成形用)
(100~200t)
国産メーカー製 14台
- 押出機(ゴム成形用)
国産メーカー製 4台
- NC旋盤(樹脂加工用)
DMG森精機製など 20台
- マシニングセンタ(樹脂加工用)
オークマ製 3台
- FT-IR分析器 日本分光製 1台

大阪
03 ISO 9001
ISO 14001

住 所／〒581-0815
八尾市
宮町3-2-15
T E L／072-923-3555
F A X／072-923-3550
創 業／昭和29年5月
設 立／平成17年4月
資本金／3,000万円
従業員／50名

顧客 対応

**社会の動きに合わせ
検査分析体制を強化**

せたシール製品の製造も得意とする。三宅一宏社長が父親からバトンを受け、経営トップに就いたのは平成15年。就任以降、エンドユーザー志向の営業体制へと改革を進めてきた。その結果、寄せられる要望やものづくりの難易度は格段に上がったという。三宅社長は「課題を一つずつクリアしていくことで技術力が底上げされた」と振り返る。

近年は環境意識の高まりや法規制の強化などから、製品の仕様や素材を見直す動きが目立つ。材料メーカーとの結びつきを強めたり、検査分析機器を充実したりして対応を進める。また、災害時における製品の安定供給を求める顧客も増えており、BCP（事業継続計画）も策定した。三宅社長は「時代に合わせたものづくりや、顧客ニーズ、困りごとを先取りした提案がメーカーとしての生命線になる。そのために、常にアンテナを張っておく必要がある」と強調する。今後は、将来的な生産規模の拡大を視野に入れ、分散している3工場を集約し、新たな生産拠点を建設することも計画している。



検査分析機器が並ぶ社内



本社社屋



<https://koyo-chem.co.jp/>